



今、地球の為に・・・

産業廃棄物収集運搬中間処理業



®環境省

エコアクション21

認証番号 0004561

2024年度環境経営レポート

(対象期間：2024年3月～2025年2月)

有限会社 島村商店

発行日 2025年 5月 12日

目 次

■ 計画の策定【Plan】

I	環境経営方針	2
II	組織の概要	3
II-I	事業所名	3
II-II	設立年月日	3
II-III	所在地	3
II-IV	資本金	3
II-V	代表者名	3
II-VI	事業内容	3
II-VII	事業の規模	3
II-VIII	保有車両	3
II-IX	許可の内容	4
II-X	破碎施設の概要	4
II-XI	廃棄物処理フロー	5
III	環境経営目標	6
IV	環境経営計画	7

■ 計画の実施【Do】

V	環境管理組織体制	8
---	----------	---

■ 取組状況の確認及び評価【Check】

VI	取組結果とその評価、次年度の取り組み内容	9
VI-I	2024年度における環境経営目標及びその実績と評価	
VI-II	産業廃棄物処理実績	
VI-III	環境負荷の状況	
	a) 二酸化炭素排出量合計	
	b) 科目別使用量と二酸化炭素排出量	
VI-IV	その他の項目取組結果とその評価、次年度の取組	
VI-V	社会貢献	
VI-VI	安全への取組	
VII	環境関連法規への違反、訴訟等	16

■ 全体の評価と見直し【Act】

VIII	代表者による全体の評価と見直し・指示	16
------	--------------------	----

I 環境経営方針

【環境理念】

有限会社 島村商店は、「今、地球の為に・・・」をスローガンにかけがえのない地球環境保全に貢献することを使命とし人と地球に安全な施設を駆使し、次の目標に向け全社員が連帯し積極的に環境問題に取組、地球環境を重要課題とし地域に信頼され、地域に貢献出来る企業を目指します。

【行動方針】

有限会社 島村商店は、一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処理業(破碎)の業務を行っております。産業廃棄物業者として、適正処分を行うと共にエコアクション21に基づいた環境保全の継続的改善に努めます。

1 CO₂削減

エネルギーの効率的な利用による二酸化炭素排出量の削減及び燃料・電気の使用量の削減に努める
省資源活動の為、水・紙の使用量の削減、グリーン購入の推進に努める

2 環境経営目標の設定

環境経営方針を達成する為、技術的及び経済的に可能な範囲で環境経営目標を設定し、必要に応じて見直しするなど環境経営の継続的な向上に努める

3 環境関連法規制等の遵守

環境関連の法律、またはその他環境に関する条例等を遵守し、環境汚染の未然防止に努める

4 持続可能な資源循環型社会の構築

受託した廃棄物の分別の徹底により、リサイクル・リユース率の向上に努める

5 社会貢献

地域での清掃活動等環境活動に積極的に参加する

6 環境配慮及びサービスの改善

顧客のニーズに応えることによる信頼性の確保に努める

本指針は、社内に掲示し、全従業員に周知徹底します

制定日 2011年 9月26日

改定日 2022年 6月21日



有限会社 島村商店

代表取締役 島村 幸治

II 組織の概要

- I 事業所名 有限会社 島村商店
- II 設立年月日 昭和 5 2 年 8 月 3 1 日
- III 所在地 本 社 東京都八王子市東浅川町 4 7 番地(E A 2 1 登録対象外)
- 鏈水営業所 東京都八王子市鏈水 2 丁目 1 4 3 2 番地 1 号
- TEL 042-675-2648 FAX 042-675-3489

IV 資本金 8 0 0 万円

V 代表者名 代表取締役 島村 幸治

VI 事業内容

- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・産業廃棄物中間処理業(破碎)
- ・一般廃棄物収集運搬業
- ・清掃業務(各種配管・ピット・下水道管渠・浄化槽)

VII 事業の規模

活動規模	単 位	2022年	2023年	2024年
売 上 高	百万円	340	343	332
従 業 員	人	15	15	15
延床面積	m ²	79	79	79
敷地面積	m ²	1,501	1,501	1,501

事業年度(当年 3 月 - 翌年 2 月)の期末における数値

VIII 保有車両 (営業車除く)

種 類	台 数
ダンプトラック	1 台
4 t 脱着装置付コンテナ専用車	2 台
4 t 脱着装置付コンテナ専用車(ユニック車)	1 台
1 0 t 強力吸引車	4 台
4 t 強力吸引車	2 台
3 t バキューム車	2 台
4 t パッカー車	1 台
高圧洗浄車	1 台
キャブオーバー	1 台
フォークリフト	1 台
油圧ショベル	4 台
ショベルローダ	1 台

IX 許可の内容

産業廃棄物収集運搬業					許可品目																
No	都道府県及び政令市	許可番号	許可年月日	有効期限	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物残渣	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器	がれき	ばいじん	燃え殻	鉋さい	
1	八王子市	109-10-005759	令和4年06月29日	令和9年06月28日	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	◎	◎
2	東京都	13-00-005759	令和4年06月29日	令和9年06月28日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3	神奈川県	01406005759	平成31年02月13日	令和10年10月31日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4	埼玉県	01102005759	令和4年06月29日	令和9年05月21日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5	群馬県	01000005759	令和6年12月20日	令和11年12月19日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6	山梨県	01900005759	令和3年12月01日	令和8年11月30日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7	千葉県	01200005759	令和4年06月19日	令和9年06月18日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8	静岡県	02201005759	令和4年03月13日	令和9年03月12日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9	茨城県	00801005759	令和7年01月21日	令和11年12月20日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
◎ 保管積替え品目																					
産業廃棄物処分量																					
9	八王子市	109-20-005759	令和3年02月02日	令和8年02月26日					●							●	●				
一般廃棄物収集運搬業					許可品目																
10	八王子市	第017号	令和6年04月01日	令和8年03月31日	事業系一般廃棄物(紙くず・木くず・繊維くず)・浄化槽汚泥																
浄化槽清掃業					営業区域																
11	八王子市	第05号	令和6年04月01日	令和8年03月31日	八王子市内																
優良性基準適合認定(産廃プロフェッショナル)																					
業の区分		収集運搬業(積替え保管を含む)										中間処理業									
認定番号		6-24-E0029										6-24-F0022									
有効期間		2025年4月1日から2028年3月31日まで										2025年4月1日から2028年3月31日まで									

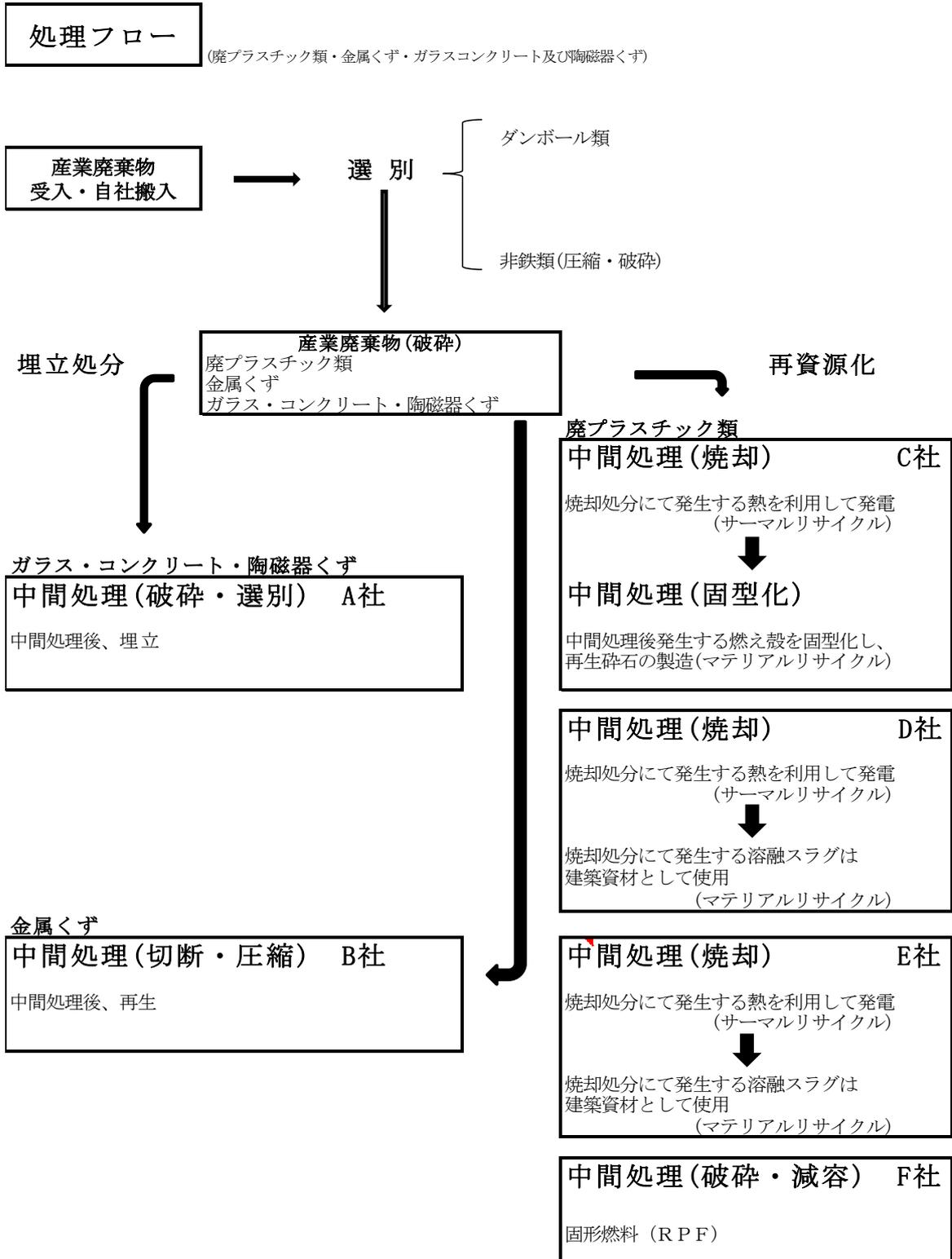
X 破碎施設の概要

処理業者名代表			有限会社 島村商店 代表取締役 島村 幸治								
処理業者住所			東京都八王子市東浅川町47番地 TEL042-675-2648(代)								
施設の設置場所			東京都八王子市鎌水2丁目1432番地1								
施設責任者			島村 幸治								
保管・積替え			中間処理施設								
施設面積：1,344.08㎡		最大保管高：2.45m		施設面積：1,323.74㎡							
廃棄物の種類		保管量		施設種類		廃棄物の種類		単独処理能力		混合処理能力	
汚泥(無機性のものに限る)		地下ピット		破碎		廃プラスチック類		4.77 t/日		4.04t/日	
燃え殻		ドラム缶5本				金属くず		1.07 t/日			
鉋さい		ドラム缶5本				ガラス・コンクリート陶磁器くず		1.48 t/日			
保管量合計		73.2㎡									

XI 廃棄物処理フロー

有限会社 島村商店中間処理場

東京都八王子市鎌水2丁目1432番地1
Tel. 042-675-2648(代)



Ⅲ 環境経営目標

項目	基準年度 2024年度	2025年度 2025年3月～ 2026年2月	2026年度 2026年3月～ 2027年2月	2027年度 2027年3月～ 2028年2月	備考	
二酸化炭素 排出量 削減	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂) (対基準削減比 %)	166.3	165.4	164.6	163.8	
	電力消費量 (kWh/ton) (電力量/中間処理量) (対基準削減比 %)	6.80	6.76	6.73	6.69	0.424kg-CO ₂ /kWh 日本テクノ2020年度
	燃料消費量 (ℓ/ton) (軽油量/収集運搬量) (対基準削減比 %)	9.40	9.35	9.30	9.25	2.585kg-CO ₂ /ℓ
	燃料消費量 (ℓ/ton) (軽油量/中間処理量) (対基準削減比 %)	6.60	6.56	6.53	6.50	2.586kg-CO ₂ /ℓ
	ガソリン使用量 (ℓ) (対基準削減比 %)	3,947	3,927	3,908	3,888	2.32kg-CO ₂ /ℓ
	L P G消費量 (kg) (対基準削減比 %)	9.40	9.35	9.30	9.25	2.99kg-CO ₂ /kg
総排水量	総排水量 (m ³) (対基準削減比 %)	784	780	776	772	排水は使用水量と同値
物資投入	グリーン購入	—	実施	実施	実施	
社会貢献	6Sの取組 会社周辺の清掃 工場見学の受入	—	実施	実施	実施	
環境配慮	環境配慮及び サービスの改善	—	実施	実施	実施	

※化学物質使用量については取扱いが無い為、環境経営目標とはしていない。

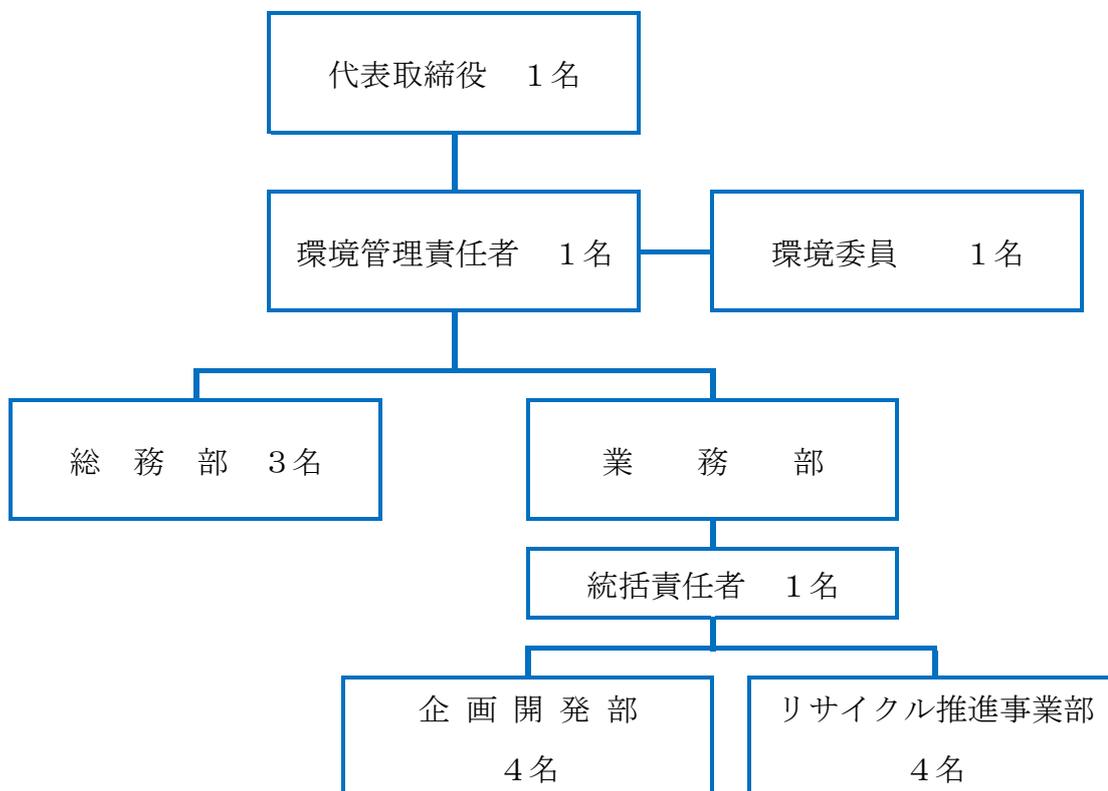
※一般廃棄物排出量等についてはごく少量の為、環境経営目標とはしていない。

IV 環境経営計画

項目	活動内容	実施時期	
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	① 空調温度の適正化(冷房時室温28℃、暖房時室温20℃)	通年
		② 照明・PC等不使用時電源を切る	
		③ 空調の清掃を定期的に行う	
		④ 破碎機の待機時間の削除	
		⑤ 破碎処理の合理化	
		⑥ 破碎機の稼働時間短縮	
		⑦ 破碎機への適正投入量の確認	
燃料使用量の削減	燃料使用量の削減	① 効率的なルート走行	通年
		② 運搬用トラック及び営業車等の保守点検	
		③ 原則時は早めにアクセルを離す	
		④ 過積載にならないよう確認	
		⑤ 構内重機の保守点検	
		⑥ 構内重機の効率運転	
		⑦ アイドリングストップを心掛ける	
ガス使用量削減	① 給湯器の温度を低温に設定	通年	
総排水量	使用水量の削減	① こまめに蛇口を締める	通年
		② 節水を心掛ける	
		③ 節水呼びかけカード表示	
物資投入	グリーン購入の推進	① グリーンマーク表示製品の購入推進	通年
		② 燃費の良い車両の選択	
		③ 再生紙利用	
社会貢献	社会貢献	① 会社周辺の清掃	毎月
		② 工場見学の受入	通年
		③ 6Sの取組	
環境配慮	環境配慮及びサービスの改善	① エコドライブの推進	通年
		② 車両の清掃	
		③ 作業開始前の車両点検	
		④ リサイクル・リユースの促進	
		⑤ 廃棄物の分別の徹底	
		⑥ 廃棄物の減量化を図る	

V 環境管理組織体制

2025年 2月現在



役割・責任・権限	
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者の準備 環境管理者の任命 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 環境活動レポートの承認 経営における課題とチャンスを確認にする 環境経営方針を定める
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開
環境委員	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 緊急事態への対応・訓練

VI 取組結果とその評価、次年度の取り組み内容

当社においては、環境年度を3月－2月としている。取組として1年間を対象にして環境経営目標達成状況及び環境経営計画の実施状況を評価した。環境負荷に関しては、過去3年間の同じ期間を比較、分析した。

VI-I 2024年度(2024年3月-2025年2月)における環境経営目標及びその実績と評価

項目	基準値 (基準年度)	2024年度		評価	
		(目標)	(実績)		
二酸化炭素 排出量 削減	CO ₂ 排出量削減 CO ₂ 排出量 0.5%削減 t -CO ₂	184.5	183.5	166.3	○
	対基準削減比	2023年度	-0.5%	-10.0%	
	電力消費量の削減 消費電力 0.5%削減 (電力量/中間処理量) kWh/ton	7.16	7.12	6.80	○
	対基準削減比	2023年度	-0.5%	-5.1%	
	燃料消費量の削減 燃料消費 0.5%削減 (軽油量/収集運搬量) ℓ /ton	9.06	9.01	9.40	△
	対基準削減比	2023年度	-0.5%	3.7%	
	燃料消費量の削減 燃料消費 0.5%削減 (軽油量/中間処理量) ℓ /ton	9.00	8.95	6.60	○
対基準削減比	2023年度	-0.5%	-27.0%		
ガソリン 使用量の削減	ℓ	3,933	3,913	3,947	△
	対基準削減比	2023年度	-0.5%	0.3%	
L P G消費量の削減	kg	9.40	9.35	9.40	△
	対基準削減比	2023年度	-0.5%	0.0%	
総排水量	節水 m ³	786	782	784	△
	対基準削減比	2023年度	-0.5%	-0.3%	

(電気のCO₂排出係数は2020年度の日本テクノ(株)0.424kg-CO₂/kWh)

※化学物質使用量については取扱いが無い為、環境経営目標とはしていない。

※一般廃棄物排出量等についてはごく少量の為、環境経営目標とはしていない。

評価基準

○：目標値、取組が出来た場合

×：目標値の+5%以上、取組が出来た場合

△：目標値の+5%未満、取組が出来た場合

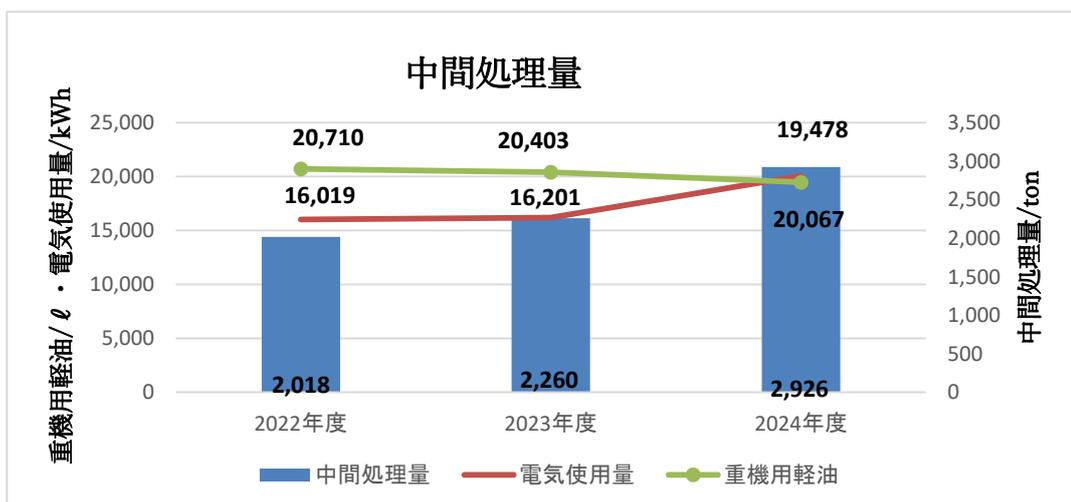
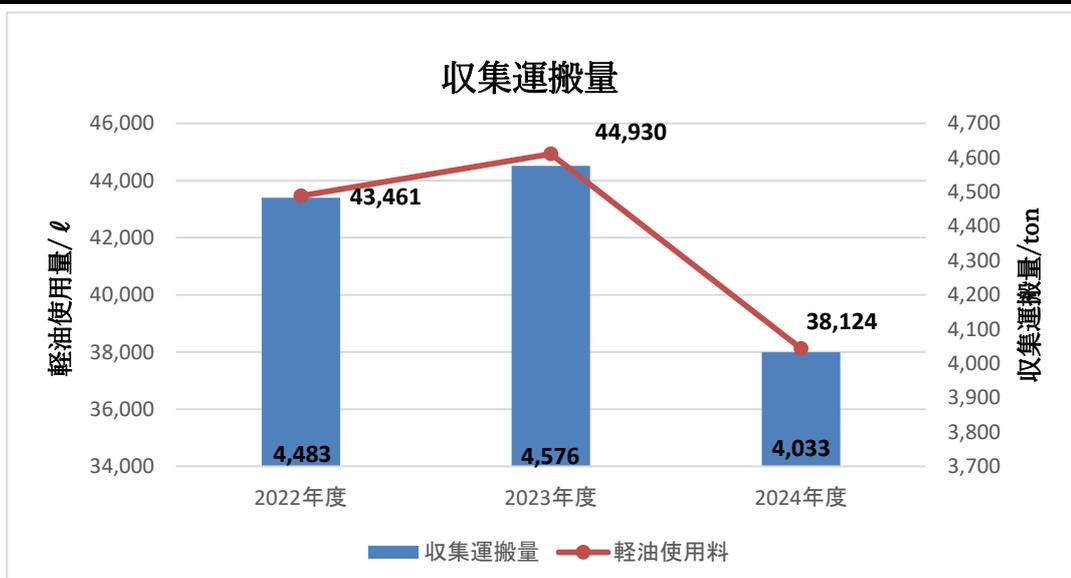


VI- II 産業廃棄物処理実績

(2024年3月-2025年2月)



廃棄物の種類		処理量(t)	廃棄物の種類		処理量(t)
収集運搬	浄化槽	335.9	中間処理	廃プラスチック類	2,699.7
	可燃物	20.8			
	汚泥	2,705.2			
	廃油	76.4		金属くず	145.5
	廃プラスチック類	646.7			
	金属くず	30.6		ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	80.9
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	35.4			
	廃アルカリ	3.7			
	燃え殻	0.7		合計	2,926.1
	紙くず	0.0			
	木くず	178.5			
	ばいじん	0.0			
	合計	4,033.9			



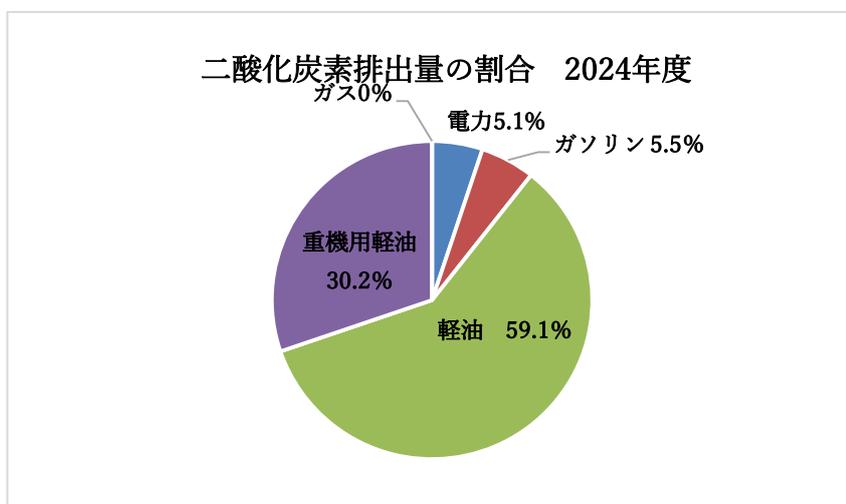
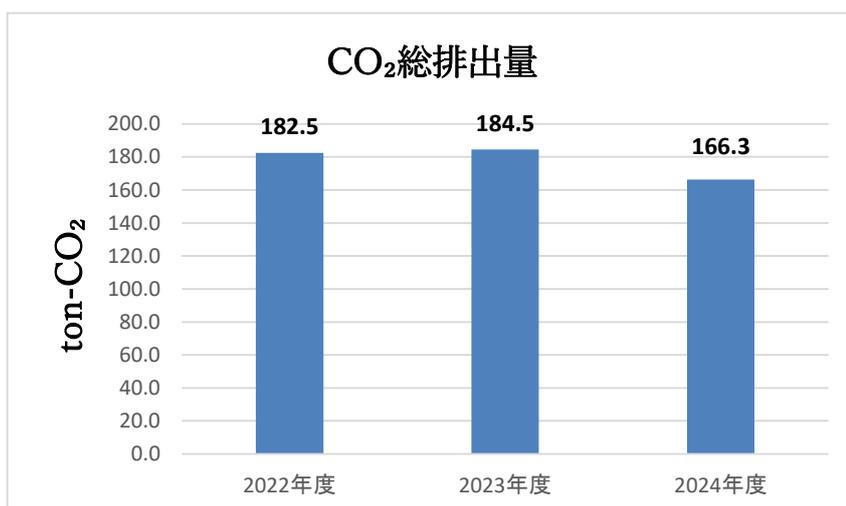
VI-III 環境負荷の状況

(1) 二酸化炭素排出量状況

a) 二酸化炭素排出量合計



年度	CO ₂ 総排出量(ton)	2023年同期比
2022年度	182.5	98.9%
2023年度	184.5	100.0%
2024年度	166.3	90.1%



b) 科目別使用量と二酸化炭素排出量

電気(CO₂排出係数：0.424kg-CO₂/kWh)(日本テクノ)(2020年度)

年度	使用量(kWh)	排出量(kg-CO ₂)	2023年同期比
2022年度	16,019	6,792	98.9%
2023年度	16,201	6,869	100.0%
2024年度	20,067	8,508	123.9%

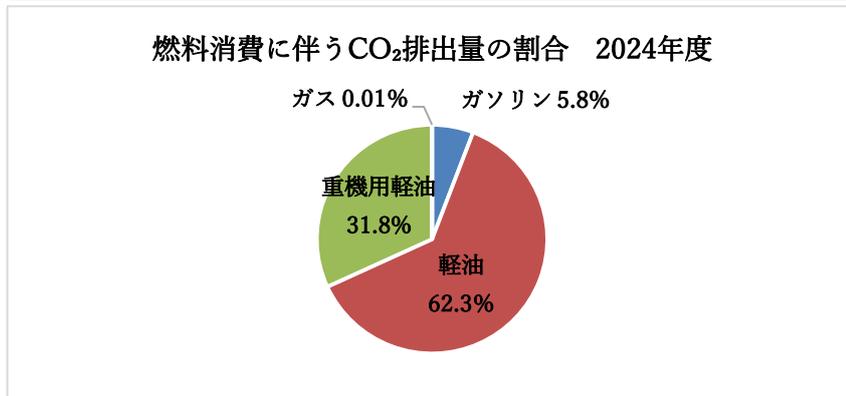
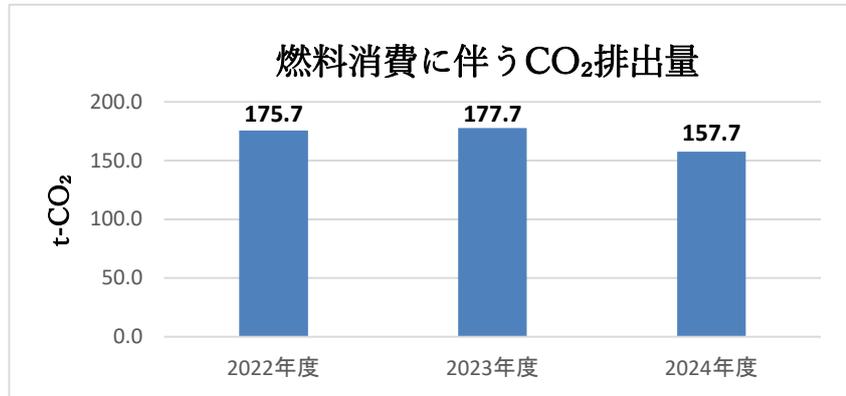


○ できた △ あまり出来なかった × 全く出来なかった

取組計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組)
空調温度の適正化(冷房時室温28℃ 暖房時室温20℃)	△	継続	酷暑の影響で事務所内のエアコン温度設定を遵守することが出来なかった。引き続き温度設定は無理のない範囲で取り組んでいく
照明・PC等不使用時電源を切る	○	継続	
破碎機の待機時間の削除	○	継続	
破碎処理の合理化	○	継続	
破碎機の稼働時間短縮	○	継続	
破碎機への適正投入量の確認	○	継続	

燃料消費に伴う二酸化炭素排出量(軽油・重機用軽油・ガソリン・LPGの合計)

年度	ton-CO ₂	2023年同期比
2022年度	175.7	98.9%
2023年度	177.7	100.0%
2024年度	157.7	88.7%



燃料のうち、軽油消費に伴う二酸化炭素排出量(CO₂排出係数：2.58kg-CO₂/ℓ)

年度	消費量(ℓ)	排出量(t-CO ₂)	2023年同期比
2022年度	64,171	165.5	98.2%
2023年度	65,333	168.5	100.0%
2024年度	57,602	148.6	88.2%

○ できた △ あまり出来なかった × 全く出来なかった

取組計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組)
・効率的なリート走行	○	継続	軽油は主として収集運搬車両になるが、酷暑であったものの、アイドリングストップ等を徹底して行うことにより目標を達成できた。
・運搬用トラックの保守点検	○	継続	
・エコドライブの推進	○	継続	
・構内重機の効率運転	○	継続	
・構内重機の保守点検	○	継続	

VI-IV その他の項目の取組結果とその評価、次年度の取組

○ できた △ あまり出来なかった × 全く出来なかった

取組計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組)
一般廃棄物の削減	3  3 すべての人に健康と福祉を	11  11 住み続けられるまちづくりを	12  12 つくる責任 つかう責任
			13  13 気候変動に具体的な対策を
			15  15 陸の豊かさも守ろう
	自社廃棄物量削減(少量な為、数値目標なし)		
節水	6  6 安全な水とトイレを世界中に	12  12 つくる責任 つかう責任	
・こまめに蛇口を締める	○	継続	洗車水の適正利用を推進できた。 取組を次年度も継続する。
・節水を心掛ける	○	継続	
・節水呼びかけカード表示	○	継続	
グリーン購入	12  12 つくる責任 つかう責任		
・グリーンマーク表示製品購入推進	○	継続	今後も引き続き意識して購入する。
・燃費の良い車両の選択	○	継続	
・再生紙利用	○	継続	
社会貢献	11  11 住み続けられるまちづくりを	16  16 平和と公正をすべての人に	
・会社周辺の清掃	○	継続	引き続き工場周辺の美化活動を継続していく。
・工場見学の受入	○	継続	
・6Sの取組	○	継続	
収集運搬における環境配慮	3  3 すべての人に健康と福祉を	5  5 ジェンダー平等を実現しよう	7  7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
・エコドライブの推進	○	継続	目標を達成することが出来次年度も取組を継続する。
・車両の清掃	○	継続	
・作業開始前の車両点検	○	継続	
処分における環境配慮	11  11 住み続けられるまちづくりを	12  12 つくる責任 つかう責任	14  14 海の豊かさを守ろう
・リサイクル・リユースの促進	○	継続	再資源化の推進に努めることが出来ている。 取組を次年度も継続する。
・廃棄物分別の徹底	○	継続	
・廃棄物の減量化を図る	○	継続	

VI-V 社会貢献



日 時： 2024年09月27日

参加者： 6名

内 容： 社外清掃



日 時： 2024年11月15日

参加者： 弊社 1名

内 容： 処分場見学

VI-VI 安全への取り組み



日 時： 2025年01月17日

参加者： 4名

内 容： 安全衛生委員会

VIII 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

法規制等名称	法規制等・遵守事項	確認
廃棄物処理法	排出事業者との契約書の締結	○
	車両に許可番号表示、書面の備付	○
	産業廃棄物処理施設設置許可、適正処理	○
	マニフェストの管理、保管	○
道路交通法	積載オーバーの禁止	○
	安全運転の義務	○
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検	○
	空調付重機の簡易点検	○
自動車NOx・PM法	自動車Nox・PM法排ガス基準適合車の使用	○

当社に適用される主な環境関連法規(一部)を評価し、これらの法律及び条例に基づき適切に対応しており、違反はありません。関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。また、訴訟、苦情に関しても過去1年間ありません。

IX 代表者による全体の評価と見直し・指示

環境関連法規への違反や、外部からの苦情もなく、今後も遵守していきたい。環境経営目標に計画的に取り組む、目標達成となる項目もあり、成果が出ている。現状の実績の改善を継続しながら必要に応じて目標を見直していきたい。今後も無駄を無くし目標達成を目指し取り組んでいく。

指示事項

環境経営方針及び環境目標、実施体制に変更なし。
次年度から引き続きエコアクション21の取組を通して、環境経営計画を全従業員に周知をし、環境負荷改善を実施していく。

連絡先

島村 裕子 (環境管理事務局)

〒192-0375 東京都八王子市鏈水2丁目1432-1

TEL : 042-675-2648 FAX : 042-675-3489

E-mail : info@shimamurahouten.com